

2022年9月8日

《シリーズ》注目設備 探訪

低温ショールーム「Cool Messe」

ダイキン、低温輸送網の製品・技術を紹介

ダイキン工業の低温事業本部とダイキンMRエンジニアリングはこのほど、主工場である堺製作所の臨海工場内に、船舶用冷凍・空調装置や海上コンテナ用冷凍機などを紹介する低温ショールーム「Cool Messe（クールメッセ）」を開設した。実機やパネル、映像を交えながら、コールドチェーン（低温輸送網）全体を支える同社の機器・技術を紹介している。

同ショールームは、船舶用冷凍・空調システムグループ、海上コンテナグループ、冷設システムグループの3つのビジネスユニットを横断した低温事業本部初のショールームとして、昨年11月にオープンした。

ショールームはコールドチェーンに沿った生産地、輸送、中継地、消費地と、環境の各コーナーに分けて展示されており、ダイキングループの社員が詳しく案内してくれる。このうち輸送コーナーでは、コンテナ船向けの海上コンテナ用冷凍機や、客船など向けの船用パッケージエアコン、空気清浄機といった製品の実機を展示しており、中には実機運転可能なものも。また、同社グループのダイキンMRエンジニアリングが感染防止対策向けとして2020年から展開する、空調機器用の抗菌・抗ウイルスフィルターを含め、船内でのウイルス対策の取り組みも紹介する。このほか、冷凍・空調装置向けのメンテナンス・修理についても写真・図付きで案内している。

海上コンテナ用冷凍機に関しては、長時間の輸送でも安定した鮮度管理を実現する技術として、青果物を低酸素、高二酸化炭素（CO₂）状態に置いて呼吸を抑制、鮮度を保つCA（Controlled Atmosphere）技術についてパネルと映像で分かりやすく解説している。

このほかの展示コーナーも充実している。生産地コーナーでは、栽培作物向けに最適な温度コントロールを実現する中温用エアコンなどを紹介。中継地コーナーでは食品に必要な温度を提供する冷凍冷蔵ユニットや中温用エアコン、消費地コーナーでは冷凍プラグインショーケースを展示する。また、環境コーナーでは、冷媒の環境課題に対するダイキン工業の方針や取り組みについて紹介している。今後も業界動向や新製品発売などに合わせて、展示物を変更していく方針。

入口からショールームまで通じる廊下では、複数の電子看板で新製品や展示会出展などの情報を紹介する。また、ダイキン工業の低温事業の歩みを振り返るパネル展示もある。同社の船舶用空調・冷凍装置としての歴史は、1938（昭和13）年に日本初のフロン式冷凍機を潜水艦に

納入したのが始まり。同ショールームを訪れば、ダイキングループの船舶分野での長い歴史にも触れることができる。

ショールームは「Cool Messe」の名にたがわず、全体的に涼しさを感じる作り。入口に掲げられた「Cool Messe」の看板も、とても涼しげなデザインだ。現地にたどり着くまでは汗だくだったが、取材中は快適な空調、涼しげな空間の中で、ダイキングループの低温事業について学ぶことができた。

【低温ショールームCool Messe】

▼住所 = 大阪府堺市西区築港新町 3-12 堺製作所臨海工場 1号工場内

▼展示内容 = 船舶用冷凍・空調システムグループ、海上コンテナグループ、冷設システムグループの各製品・技術

▼見学は完全事前申込制



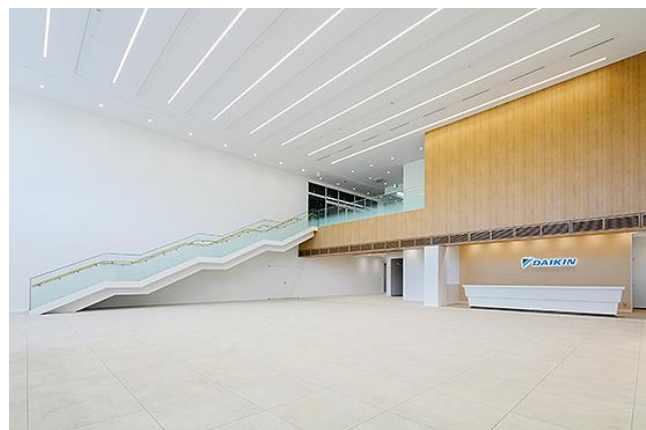
「Cool Messe」 エントランス



海上コンテナ事業の紹介



船舶用事業の製品紹介



臨海工場エントランス

海事プレスに掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

© Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.